

瑞浪市地球回廊

施設管理者 : 岐阜県瑞浪市
施設所在地 : 岐阜県瑞浪市明世町戸狩 67-1
調査見学時期 : 平成17年11月25日
施設概要

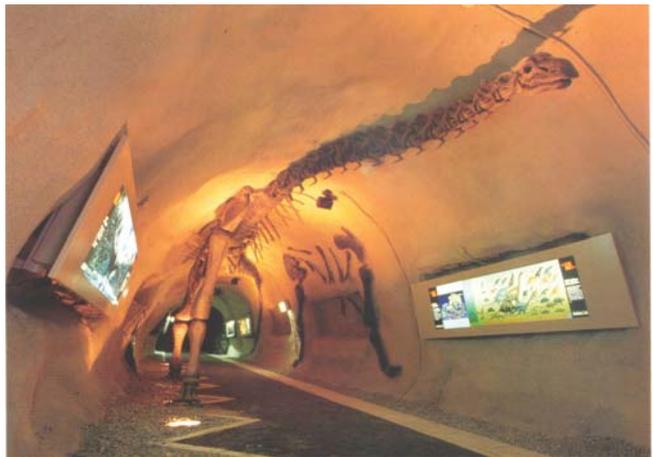
瑞浪市民公園内の一施設である瑞浪市地球回廊は、「地球を考える」をテーマに地球史について展示・解説された博物館です。館内は、第二次世界大戦中に掘られた地下壕を利用しています。

全長 200m以上にわたる地下の回廊には、「地球の誕生」から「生命の誕生」「恐竜たちの活躍」「人類の誕生の様子」までの地球史が、時代ごとに12のスペースに区切られ、そこには図やイラストでわかりやすく工夫されたパネル展示や、恐竜（サイズモザウルス）の骨格模型が飾られています。

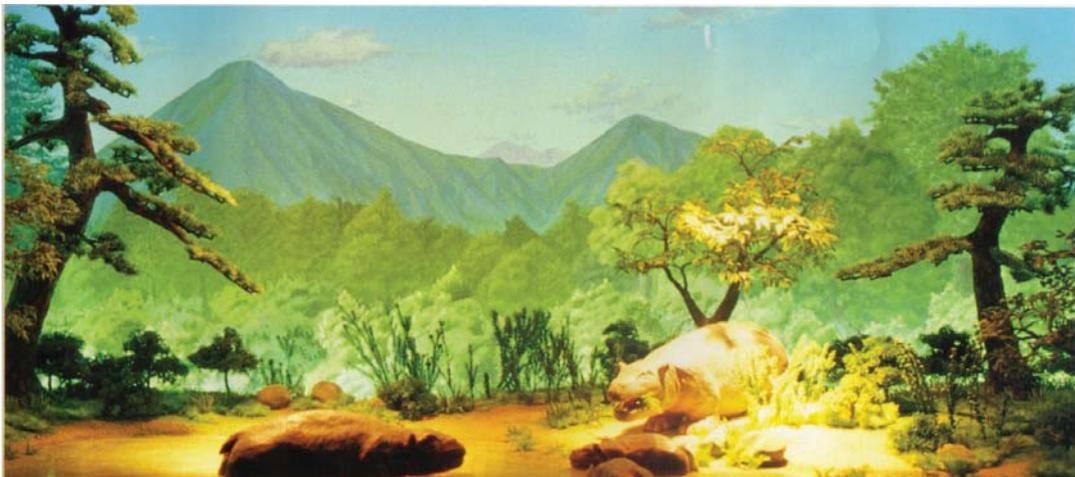
瑞浪市は、1898年に世界で初めて絶滅哺乳類のデスマスチルス(およそ2,800万年前から1,300万年前に生息)の頭骨が発見された地域です。これにちなんで、デスマスチルスが当時のんびりと暮らしている様子をイメージしたジオラマも飾られていました。



①「古代の海」の回廊の風景



②サイズモザウルスの骨格模型



③デスマスチルスのジオラマ

①～③はすべて「地球回廊 FLOOR GUIDE」より

地下壕利用施設(地球回廊)

施設管理者 : 瑞浪市
施設所在地 : 岐阜県瑞浪市明世町
調査見学時期 : 平成 15 年 2 月 21 日
施設概要

地球回廊は、戦争中に掘られた地下壕を利用した、全長 240m の地下ミュージアムで、46 億年前に地球 が誕生した様子から現在にいたるまでの各時代をパ ネルや模型、巨大なスクリーンのハイビジョン等で 紹介する施設で、大人も子供も楽しめる内容で、こ ういう地下施設の利用もあるのだなと感心しました。(G E C ニュース第 1 6 3 号より抜粋)